

活動事例5 中須北地区

住民組織（集落連合）による 棚田保全活動 中須北地区 （周南市中須）



やまぐちの棚田20選MAP：◎中須北地区

地域の概要と特徴

- 本地域は、周南市の中心地から20kmの北東に、旧周東町、旧美川町と境を接する標高300mの盆地にあり、地区内の5集落は、すり鉢状の棚田で結ばれています。
- 生産者有志によって「都濃自然米生産グループ」を結成し、無農薬・無化学肥料の米栽培に取り組み、全量産地直売の取り組みも進めるなか、平成22年11月には「泣かす米」として商品化、販売に取り組んでいます。
- 平成13年に結成されたむらづくり実践組織「棚田清流の会」を中心に、地域住民が協力して棚田の保全に取り組んできました。
- 工夫を凝らした農業体験交流会や、棚田オーナー制度を始め、地域のPRとしてフォトコンテストを行うなど、都市住民との交流活動が盛んに行われています。棚田の景観の美しさは、地域内外の人の心をいやしています。

活動のポイント

自治会を超えた集落連合で取り組む保全活動

- ひとつの自治会だけで取り組むこともありますが、同じような課題を抱えているお隣の自治会と一緒に暮らづくりを始めてみることも考えてみましょう。
- 組織づくりのポイントは、集落全員が加入することです。
- 活動は、身近な環境美化活動のような子どもから高齢者までが参加できる内容として少しずつ活動を広げていきます。（まずは地域の中がまとまるのが最優先です）
- 棚田オーナー制度は、農作業を通じた交流により都市住民に地域を知ってもらえることと地域住民が元気になるアイテムです。棚田ファンや棚田応援団を増やしていくことが可能となります。
- イベントのスタッフは、高齢者も呼び込みましょう。一緒になって行うことで地域の連帯感が強まります。
- イベントの後の反省会は、とても重要です。新しいアイデアも生まれてくるでしょう。

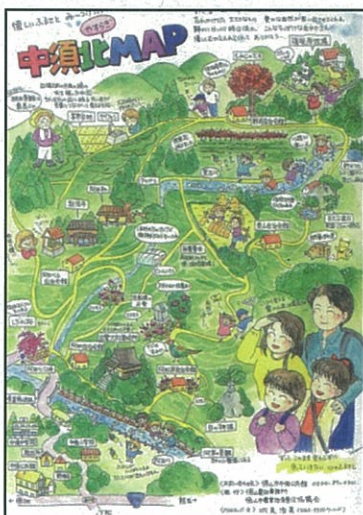
問い合わせ先：周南農林事務所 農村整備部
TEL 0834-33-6459



案内看板



棚田オーナーによる稲刈り



地域資源が掲載された中須北マップ



都市部のイベントへ出張参加

写真、資料：棚田清流の会提供